

## 愛知県地域公共交通計画 別紙(令和7年度)(案)の概要

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					7年度	8年度	9年度				
1	名鉄バス㈱	大沼	岡崎市中心部と豊田市南東部を結ぶ路線であり、沿線地域住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と豊田市下山エリアの広域路線として必要不可欠である。	岡崎市 豊田市	50,527	52,435	54,343	・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ、時刻表の配布、広報紙やHP等を活用したPR ・イベント出展による利用促進 ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	東岡崎駅と岡崎市北部地域、豊田市南東部を結ぶ路線が維持され、沿線住民の日常生活の移動手段が確保される。	5,352.5
2	名鉄バス㈱	岡崎・足助	隣接する市域を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	岡崎市 豊田市	124,534	128,077	131,620	・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ、時刻表の配布、広報紙やHP等を活用したPR ・イベント出展による利用促進 ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	隣接する市域を結ぶ重要幹線系統が維持され、地域住民の日常生活における移動手段が確保される。山間地域である足助地区から近隣都市である岡崎市への移動を可能にし、地域の活性化に寄与する。	11,894.5
3	名鉄バス㈱	矢並	豊田市中心部(豊田市駅)と同市東部(旧足助町)を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	豊田市 (旧足助町)	115,108	118,067	121,025	・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ、時刻表の配布、広報紙やHP等を活用したPR ・イベント出展による利用促進 ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	豊田市駅と同市東部(旧足助町)を結ぶ路線が維持され地域住民の日常生活における移動手段が確保される。香嵐溪の観光地への交通手段として確保される。	9,737.5
4	名鉄バス㈱	岡崎・安城	隣接する地域を結ぶ重要な幹線系統であり、移動手段を持たない学生や高齢者の生活交通として必要不可欠である。	岡崎市 安城市	45,039	47,070	49,102	・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ、時刻表の配布、広報紙やHP等を活用したPR ・イベント出展による利用促進 ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	東岡崎駅と安城駅間を結ぶ路線が維持され、地域住民の日常生活における移動手段が確保される。	2,413.0
5	名鉄バス㈱	日進中央	地下鉄・名鉄赤池駅、リニモ長久手古戦場駅を結ぶ基幹交通であるとともに、日進市役所を乗り継ぎ拠点とし、日進市内各方面の主要施設を結ぶ路線である。2市間を南北に移動するための重要路線であり、交通結節点を結ぶ広域的な交通ネットワークの基幹路線として機能している路線である。	日進市 長久手市	129,047	131,417	133,787	・GTFS化を図り多方面から検索に応える ・路線マップ、時刻表の配布、広報紙やHPでのPR ・利用者への料金補助、イベント出展による利用促進 ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	通勤・通学・買物など地域住民の日常生活に必要な移動手段が確保される。日進市・長久手市間の南北の移動需要に対応できる。日進市役所等の交通結節点で乗り継ぐことで、日進市各所への移動手段が確保される。	5,640.0
6	名鉄バス㈱	星ヶ丘・豊田	鉄道駅への接続及び大規模商業施設への移動需要に基づく路線である。名古屋市への移動手段確保及び地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	日進市 みよし市 東郷町	34,963	35,988	37,012	・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ、時刻表の配布、広報紙やHP等を活用したPR ・イベント出展による利用促進 ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	通勤、通学、買い物等の地域住民の日常生活における移動手段が確保される。	1,984.0
7	名鉄バス㈱	愛知医科大学病院	リニモ長久手古戦場駅、愛知医科大学病院、名鉄尾張旭駅を結んでおり、それらの駅等は鉄道や他市コミュニティバス等へと接続していることから、沿線住民・利用者の通院・通学、買い物等の日常生活に必要な不可欠な路線である。	尾張旭市 長久手市	49,997	52,365	54,734	・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ、時刻表の配布、広報紙やHP等を活用したPR ・利用実態に応じたダイヤなどの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	沿線住民の広域移動及び通院等の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保されます。	2,126.0

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					7年度	8年度	9年度				
8	名鉄バス㈱	本地ヶ原	藤が丘駅(名古屋市)と尾張瀬戸駅(瀬戸市)を結ぶとともに、総合病院(愛知医科大学病院)で他の幹線系統やコミュニティバス等と接続しており、地域住民の日常生活における移動手段を確保するため必要不可欠である。	名古屋市 瀬戸市 尾張旭市 長久手市	103,125	104,967	106,810	・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やHP等を活用したPR ・利用実態に応じたダイヤなどの見直し ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行 ・1日乗車券等の購入手続き効率化による利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	コミュニティバス路線と結節し、鉄道駅及び総合病院を結ぶ路線が維持されることにより、地域住民の広域移動や通院等の日常生活における移動手段が確保される。	4,158.0
9	名鉄バス㈱	ふれんどバス①	平成16年3月末で廃止された吉良吉田駅～碧南駅間を結ぶ鉄道代替路線として広域的に鉄道駅へ繋ぐとともに、沿線高校への通学、沿線地域から各地の高校等への通学路線であり、地域住民にとっても日常生活の移動手段として必要である。	碧南市 西尾市	124,763	130,067	135,372	・鉄道や他のバス路線との接続による乗継利便性の向上 ・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ・時刻表の配布や広報紙やHP等を活用したPR ・沿線高校の行事に対応した運行計画による利便性の向上 ・沿線高等学校での定期券の出張販売や時刻表の配布 ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行	運行事業者 沿線市町村	碧南市と西尾市を結ぶ路線の維持により、高校生の通学、沿線地域から鉄道駅への接続に必要な不可欠な日常生活の移動手段が確保される。	8,675.5
10	名鉄バス㈱	ふれんどバス②	平成16年3月末で廃止された吉良吉田駅～碧南駅間を結ぶ鉄道代替路線として広域的に鉄道駅へ繋ぐとともに、沿線高校への通学、沿線地域から各地の高校等への通学路線であり、地域住民にとっても日常生活の移動手段として必要である。	碧南市 西尾市	136,960	141,739	146,518	・鉄道や他のバス路線との接続による乗継利便性の向上 ・GTFS化を図り多方面からの検索に応える ・路線マップ・時刻表の配布や広報紙やHP等を活用したPR ・沿線高校の行事に対応した運行計画による利便性の向上 ・沿線高等学校での定期券の出張販売や時刻表の配布 ・系統ナンバリングの設定による利便性向上 ・高齢者向けフリーバスのPRや購入者向け情報誌の発行	運行事業者 沿線市町村	碧南市と西尾市を結ぶ路線の維持により、高校生の通学、沿線地域から鉄道駅への接続に必要な不可欠な日常生活の移動手段が確保される。	12,459.0
11	豊鉄バス㈱	伊良湖支線(福祉C掘切)	田原市中心市街地、赤羽根地域及び渥美地域とを結ぶ地域間幹線系統であり、他に移動手段を持たない沿線地域住民の日常生活における移動手段として必要不可欠な路線である。	田原市 (旧渥美町)	48,445	48,445	48,445	・パンフレット、広報紙等を利用した利用促進PR ・イベントの開催 ・エコ通勤デー等の実施	運行事業者 沿線市町村	田原市中心部、赤羽根地域及び渥美地域をはじめとする地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	5,193.0
12	豊鉄バス㈱	作手	新城市中心部と作手地区を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な路線である。	新城市 (旧作手村)	58,639	58,639	58,639	・広報誌への掲載 ・市政番組での紹介 ・バスマップの配布 ・作手地区での路線再編と連携した利用促進策の実施	運行事業者 沿線市町村	旧作手村地域住民の必要不可欠な移動手段が確保される。	4,082.5
13	豊鉄バス㈱	新城病院上平井田口	新城市と旧鳳来町、設楽町を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な路線である。	新城市 設楽町	47,941	47,941	47,941	・広報誌への掲載 ・バスマップや総合時刻表、路線図の作成、配布 ・田口新城線活性化検討会で協議した利用促進策の実施	運行事業者 沿線市町村	新城市中北部、本長篠、玖老勢、海老地域、設楽町田口の地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	6,323.0
14	豊鉄バス㈱	伊良湖本線(渥美病院休暇村明神)	田原市中心市街地と渥美地域とを結ぶ地域間幹線系統であり、他に移動手段を持たない沿線地域住民の日常生活における移動手段として必要不可欠な路線である。	田原市 (旧渥美町)	65,145	65,145	65,145	・パンフレット、広報紙等を利用した利用促進 ・PRイベントの開催 ・エコ通勤デー等の実施	運行事業者 沿線市町村	田原市西部、渥美地域を始めとする地域住民の日常生活における移動手段が確保される。	9,407.0
15	豊鉄バス㈱	新豊	豊橋市、豊川市、新城市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	豊橋市 豊川市 新城市	176,959	176,959	176,959	・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動	運行事業者 沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部、一宮地区、新城市中北部・西部地区の必要不可欠な移動手段が確保される。	16,380.0

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					7年度	8年度	9年度				
16	豊鉄バス㈱	伊良湖本線(豊橋保美)	豊橋市街地、田原市中心市街地及び渥美地域とを結ぶ地域間幹線系統であり、沿線地域住民の日常生活における移動手段として必要不可欠な路線である。	豊橋市 田原市	78,471	78,471	78,471	・パンフレット、広報紙等を利用した利用促進 ・PRイベントの開催 ・エコ通勤デー等の実施 ・豊橋市主催のイベント等にての利用啓発活動の実施	運行事業者 沿線市町村	豊橋市の羽根井・中野・磯辺・植田・大清水・老津・杉山校区、並びに田原市中央部及び渥美地域を始めとする地域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	9,637.5
17	豊鉄バス㈱	豊川(体育館前)	豊橋市と豊川市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な路線である。	豊橋市 豊川市	58,663	58,663	58,663	・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動	運行事業者 沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部の必要不可欠な移動手段が確保される。	2,049.5
18	豊鉄バス㈱	豊川(イオン病院)	豊橋市と豊川市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な公共交通機関である。	豊橋市 豊川市	110,383	110,383	110,383	・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動	運行事業者 沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部の必要不可欠な移動手段が確保される。	5,108.5
19	豊鉄バス㈱	豊川(イオンモール豊川)	豊橋市と豊川市を結ぶ地域間幹線系統であり、移動手段を持たない地域住民の必要不可欠な路線である。	豊橋市 豊川市	66,284	66,284	66,284	・広報誌への掲載 ・地域住民と連携したモビリティマネジメント ・市開催のイベントで利用啓発活動	運行事業者 沿線市町村	豊橋市下地・大村地区、豊川市中央部の必要不可欠な移動手段が確保される。	3,337.5
20	豊鉄バス㈱	新城名古屋藤が丘線	名古屋圏と奥三河地域を結ぶ地域間幹線系統であり、名古屋圏に転出することなく新城市に住み続けたまま通学・通勤を可能とし、定住促進を図る路線である。通学可能範囲が広がることで、経済的負担が抑えられ、高等教育就学の機会を増やすためにも必要な路線である。また、高齢化が著しい新城市にとって、医療機関の充実した大都市圏への通院を可能とする本路線は必要不可欠であり、代替えない路線である。	名古屋 新城市 長久手市	19,653	19,653	19,653	・運行ダイヤの見直しなどによる利便性の向上 ・高校や大学との連携強化 ・新規利用者の獲得に向けたキャンペーン等の実施 ・医療機関との連携による通院利用の掘り起こし ・生活利用及び観光利用のPR強化 ・観光二次交通の確保、旅行会社と連携して地型観光の開発と販売	運行事業者 沿線市町村	奥三河圏域住民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保され、定住促進や持続可能な地域社会の形成に資する。名古屋圏から奥三河圏域への観光目的の移動手段としての役割も担い、交流人口の増加による地域活性化及び地域経済の活性化に資する。	9,453.5
21	知多乗合㈱	半田・常滑(A)	半田市中心市街地と常滑市中心市街地を結ぶ系統で、鉄道駅を利用する通勤通学者の他、沿線の学校への通学の足としても機能している。半田市内の青山駅や知多半田駅、常滑市内の常滑駅等において、地域内フィーダー路線へ接続しており、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段として、地域住民の日常生活に必要な不可欠な路線である。	半田市 常滑市	85,000	90,000	95,000	・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・沿線学校との連携強化 ・接続路線との乗継ダイヤの配慮や乗継停留所の整備 ・半田市及び常滑市における運賃助成制度等の継続	運行事業者 沿線市町村	半田市内及び常滑市内にある主要駅や大型店舗、病院等への移動手段が確保され、半田市民及び常滑市民のくらしの足の確保ができる。	6,105.5
22	知多乗合㈱	半田・常滑(N)	半田市中心市街地と常滑市中心市街地を結ぶ系統で、鉄道駅を利用する通勤通学者の他、沿線の学校への通学の足としても機能している。半田市内の青山駅や知多半田駅、常滑市内の常滑駅等において、地域内フィーダー路線へ接続しており、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段として、地域住民の日常生活に必要な不可欠な路線である。	半田市 常滑市	65,000	70,000	75,000	・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・沿線学校との連携強化 ・接続路線との乗継ダイヤの配慮や乗継停留所の整備 ・半田市及び常滑市における運賃助成制度等の継続	運行事業者 沿線市町村	半田市内及び常滑市内にある主要駅や大型店舗、病院等への移動手段が確保され、半田市民及び常滑市民のくらしの足の確保ができる。半田市西部から半田市役所、半田病院等への直通運行をすることにより利便性向上が図られる。	4,145.0
23	知多乗合㈱	横須賀(A)	名鉄尾張横須賀駅とJR大府駅を結ぶ路線で、駅を経由して名古屋方面への通勤通学の利用者が多い路線である。鉄道フィーダー路線として、地域住民にとって必要不可欠な路線である。	東海市 大府市	58,534	58,534	58,534	・バスマップへの路線図、時刻表の掲載によるPR ・市HPに事業者HPのリンクを貼付 ・時刻表に事業者連絡先を掲載	運行事業者 沿線市町村	沿線地域住民の日常生活に必要な不可欠な鉄道駅までの移動手段となる。尾張横須賀駅、高横須賀駅では、東海市循環バスと接続し、大府駅では大府市循環バスと接続していることから、沿線地域住民にとって移動可能区域が大幅に広がる。	2,456.0

項目	運行予定者名	運行系統名	系統の概要、必要性	関係市町村	目標利用者数(人)			利用促進策	利用促進策の実施主体	事業の効果	計画額(千円)
					7年度	8年度	9年度				
24	知多乗合株	東ヶ丘団地	知多市・東浦町・阿久比町の境目に位置する名鉄翼ヶ丘駅と東ヶ丘団地(東浦町)を結ぶ路線であり、通勤・通学やお買い物等の移動手段として利用されている。沿線市町のコミュニティバスに接続しており、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段など、地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	東浦町 知多市 阿久比町	28,273	28,273	28,273	・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・コミュニティバスとの回数券共通利用事業の継続 ・接続路線との乗継ダイヤの配慮	運行事業者 沿線市町村	鉄道駅や店舗、病院等への移動手段が確保され、地域住民の「くらしの足」を確保することが出来る。	516.0
25	知多乗合株	上野台	東海市中心市街地と大府市西部を結ぶ路線であり、通勤・通学やお買い物等の移動手段として利用されている。沿線市のコミュニティバスに接続しており、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段など、地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	大府市 東海市	179,060	179,060	179,060	・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・沿線学校との連携強化	運行事業者 沿線市町村	鉄道駅や店舗、病院等への移動手段が確保され、地域住民の「くらしの足」を確保することが出来る。	3,313.0
26	知多乗合株	大府	大府市中心市街地と東浦町北部を結ぶ路線であり、国立長寿医療研究センター及びあいち小児保健医療総合センターの通院やげんきの郷への買い物等の移動手段として利用されている。沿線市町のコミュニティバスに接続しており、地域内の病院や店舗、スーパーなどへの移動手段など、地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。	大府市 東浦町	59,621	59,621	59,621	・HP、広報紙への時刻表掲載 ・利用促進PRの実施 ・コミュニティバスとの回数券共通利用事業の継続 ・接続路線との乗継ダイヤの配慮	運行事業者 沿線市町村	鉄道駅や店舗、病院等への移動手段が確保され、地域住民の「くらしの足」を確保することが出来る。	1,728.5
27	知多乗合株	あいあいバス(北部循環コース)	知多市内における公共交通空白地域の解消のほか、商業施設が無い沿線地域住民や交通弱者である高齢者や障害者等の日常生活の移動手段として利用されている。東海市には、西知多総合病院が立地していることや、知多市東部地域は東海市の南加木屋駅周辺との結びつきが強いことから、広域的な移動手段の確保、維持のために必要不可欠な路線である	知多市 東海市 阿久比町	62,800	63,400	64,000	・時刻表の配布、HP、広報誌を活用したPR ・GTFS化したバス情報を乗り継ぎ案内サイトへ提供 ・バスケーションシステムの運用 ・バスの乗り方教室などの出前講座の開催 ・職員の利用促進	沿線市町村	東海市にある公立病院への通院客の交通手段が確保される。沿線地区の住民は、市の西部や近隣市町へ通院、買い物に出かけることが可能になるなど、市民の日常生活に必要な不可欠な移動手段が確保される。	4,630.5
28	名鉄東部交通株	岡崎・西尾(青野)	交通結節点である名古屋鉄道東岡崎駅や地域医療の拠点である藤田医大岡崎医療センターを起点として、JR岡崎駅を經由し郊外及び隣接する西尾市とを結ぶ広域的路線である。沿線住民の通院や通勤、通学などのために必要不可欠な路線である。	岡崎市 西尾市	162,405	165,317	168,228	・公共交通の情報提供(マップ作成・配布) ・まちづくりとの連携による地域住民の利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	沿線住民の日常生活の移動手段が確保される。	12,199.0
29	名鉄東部交通株	岡崎・西尾(西尾市民病院)	岡崎市中心部と西尾市中心部を結ぶ路線であり、沿線住民の日常生活における移動手段を確保するとともに、岡崎市と西尾市の市域間の広域的な移動手段を確保するため必要不可欠な路線である。	岡崎市 西尾市	91,592	93,287	94,982	・公共交通の情報提供(マップ作成・配布) ・まちづくりとの連携による地域住民の利便性の向上	運行事業者 沿線市町村	沿線住民の日常生活の移動手段が確保される。	5,517.5
30	あおい交通株	勝川駅あいち航空ミュージアム	鉄道駅のない豊山町民にとって、名鉄味美駅、JR勝川駅を利用するために重要な路線であるとともに、他地域から流入する県営名古屋空港や大型商業施設の利用客、三菱航空機の従業員にも利用されている。平成20年度に春日井市方面と豊山町をつなぐ路線バスが撤退したため、その代替としても機能している。	春日井市 豊山町	70,000	72,000	74,000	・広報、HPなどによるPR	運行事業者 沿線市町村	豊山町及び春日井市民の生活上の利便性を向上させる。県営名古屋空港へのアクセスを保つことにより、県全体の地域振興に寄与できる。	1,412.0
31	三重交通株	飛鳥公共交通バス(蟹江線①)	最寄りの主要な鉄道駅である近鉄「蟹江駅」と飛鳥村を結ぶ路線であり、飛鳥村をはじめ、沿線の弥富市・蟹江町の住民の通勤・通学者が近鉄への乗り換え利用が多い。飛鳥村方面行き路線では飛鳥村外からの通勤利用が多い。地域住民の日常生活に必要な不可欠な路線であり、今後も安定継続的に維持確保する必要がある。	弥富市 蟹江町 飛鳥村	125,000	125,000	125,000	・GTFSの導入 ・バスロケーションシステム継続実施 ・フェスタ、マルシェ等の大型イベントでの啓発	沿線市町村	沿線地域住民等の生活に必要な不可欠な移動手段が確保できる。	11,658.5

